

2024年11月10日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第67巻第33号(通算3415号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

小さくされている人を
大切に^{たいせつ}する^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に^{たいせつ}する神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマの人々への手紙5:5)

降誕前第7主日礼拝

(障がい者週間)

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

前奏(黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 詩編 105編 1-6節

賛美歌 21-17番「聖なる主の美しさと」(©教団讚美歌委員会)

お祈り

聖書 創世記 13章 1-18節

賛美歌 21-540番「主イエスにより」(©著作権消滅)

メッセージ「目を上げて見渡せ」 水谷 憲 牧師

賛美歌 21-361番「この世はみな」(©教団讚美歌委員会)

主の祈り 62番「天にいますわたしたちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

愛児祝福式(*) 水谷 憲 牧師

献げ物(**)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

祝福 水谷 憲 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* みんなで出席された子どもたちに神様からの祝福をお祈りします。

** 「献げ物(献金)」は受付にある献金箱にお入れください。

招きの詞 詩編 105 編 1-6 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

- 1 主に感謝し、その名を呼べ。／もろもろの民に主の業^{わざ}を知らせよ。
- 2 主に向かって歌い、主をほめ歌え。／すべての奇^くしき業を語れ。
- 3 主の聖なる名を誇れ。／主を求める者たちの心は喜べ。
- 4 主とその力を求めよ。／常にその顔を尋ねよ。
- 5 主の行われた奇^くしき業を／奇跡と主の口から出る裁きとを心に留めよ
- 6 主の僕^{しもべ} アブラハムの子孫よ／主に選ばれたヤコブの子らよ。

聖書 創世記 13 章 1-18 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

1 アブラムは妻を伴い、すべての持ち物を携え、エジプトからネゲブへと上って行った。ロトも一緒であった。2 アブラムは家畜や銀と金に恵まれ、大変に裕福であった。3 彼はネゲブからさらにベテルまで旅を続け、ベテルとアイの間にある、かつて天幕^{てんまく}を張った所までやって来て、4 初めに祭壇を造った場所に行き、そこで主の名を呼んだ。5 アブラムと一緒にいったロトもまた、羊の群れと牛の群れと多くの天幕を持っていた。6 そのため、その地は彼らが一緒に住むには十分ではなかった。財産が多く、一緒に住むことはできなかったのである。7 それで、アブラムの家畜を飼う者たちと、ロトの家畜を飼う者たちとの間に争いが生じた。当時、その地にはカナン人とペリジ人が住んでいた。8 アブラムはロトに言った。「私たちは親類どうしなのだから、私とあなた、また私の家畜を飼う者たちと、あなたの家畜を飼う者たちとの間で争い事がないようにしたい。9 あなたの前には広大な土地が広がっているではないか。さあ私と別れて行きなさい。あなたが^a左にと言うなら、私は^b右に行こう。あなたが右にと言うなら、私は左に行こう」

10 ロトがヨルダンの低地一帯を見回してみると、主がソドムとゴモラを滅ぼされる前であったので、その辺り一面は、主の園^{その}のように、またエジプトの地のように、ツォアルに至るまであまねく潤^{うるお}っていた。11 そこでロトは、ヨルダンの低地一帯を選び取った。ロトは東の方へと移って行き、こうして彼らは互いに別れた。12 アブラムはカナンの地に住み、ロトは低地の町に住んで、ソドムの近くに天幕を移した。13 ソドムの人々は主に対して、極めて邪悪で罪深かった。

14 ロトが別れて行った後、主はアブラムに言われた。「さあ、あなたは自分が今いる所から北、南、東、西を見回してみなさい。15 見渡すかぎりの地を、私はあなたとあなたの子孫に末永く与えよう。16 私はあなたの子孫を地の塵^{ちり}のように多くする。もし人が地の塵を数えることができるなら、あなたの子孫も数えることができるだろう。17 さあ、その地を^c自由に歩き回ってみなさい。私はその地をあなたに与えよう。」18 アブラムは天幕を移し、ヘブロンにあるマムレ^{かし}の檜^{かし}の木^{かし}のそばに来て住み、そこに主のための祭壇を築いた。

(脚注 a：別訳「北」、b：別訳「南」、c：直訳「縦横に」)

《先週のメッセージより》2024年11月3日 召天者記念礼拝

「なげかわしくてごめん」より

水谷憲牧師

聖書 マタイによる福音書 23章 25-33節

エルサレムに迎え入れられたキリストは、神殿の境内で様々な論争をする中で、律法学者やファリサイ派の人々を非難する。「杯や皿の外側はきれいにしているが、内側は強欲と放縦で満ちている」。かつてイエスは、食事の前に手を洗うかどうかで議論になった時に、「口から出てくるものは、心から出てくるので、これこそ人を汚す」と言われた（マタイ 15章）。悪意や下心に満ちた顔つき、うそや悪口を吐く者の顔つきの汚らわしさ。

自分の醜さが周囲にばれることを恐れ、自分の内側の汚れが知られないよう、あえて外側を美しく取り繕っても、そんな化けの皮はいずれ剥がれる。いくら清く正しく見せ、善い行いをし、聞こえよい言葉を口にしても、私たちが自分の内面を清めてゆく——自分を優先する代わりに他人を尊重すること、自分が正しいと思い込むことなく謙虚になること、人の粗を探すのではなく人の良さを探すことのできる目を持つこと、自分の欠けた部分に恐れず目を向けること——そのような努力なしには、必ずメッキは剥がれ、先祖が犯した罪の升目は満たされ、自ら地獄の裁きを招くことになるのだ、それが災いでなくて何であろうか。だからこそ、まず内側をきれいにせよ。

ここでイエスが批判する律法学者・ファリサイ派は、私たちの代名詞でもある。私たちが彼らと何の変りもない。いや、「オレはこいつらとは違う！」と言っている時点できっとアウト。そんないわゆる偽善者たちにイエスは「災いあれ（聖書共同訳）」と言う。しかし、呪いの言葉はひどすぎないか。確かに私たちは偽善者のそしりをまぬかれない。しかしきっと、律法学者もファリサイ派も、あなたも私も知らぬうちに偽善者になってしまっているだけなのだ。キリストの呼びかけによって私たちが目を覚まし、そこから抜け出すことができるかもしれない。だから呪いをかけるのではなく、「あなたたち偽善者はなげかわしいことだ（本田哲郎神父訳）」、といったぼやきにとどめておいてくれば、私たちはまだ頑張れそう。私たちは「へいへい、どうせ偽善者ですよ」と開き直るのではなく、イエスからの問いかけを謙虚に受け止め、天上にある先輩たちやキリストから「災いあれ」ではなく「なげかわしいなあ、お前たちは」ってぼやかれていると思って、「ごめんなさいイエス様」っていう気持ちで、内面から清めてゆく努力をしていきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 11月3日 召天者記念礼拝

礼拝出席 大人5名 献金 大人5,000円 中継視聴者数4回 感謝

13時半より奈良県王寺町にある王寺墓地にて墓前礼拝が行われました。

また14時半からは柏原市にある特別養護老人ホーム「第二好意の庭」内にて、入居者の方々と職員の方々と一緒に「召天者記念礼拝」が行われました。

◎次週 2024年11月17日(日) 降誕前 第6主日礼拝

招きの詞 申命記 18章 22節

聖書 マタイによる福音書 5章 38-48節

メッセージ 「敵を愛せよとの神の言」牛田匡牧師

11月は「愛児祝福月間」ですので、子どもが出席された場合、礼拝の中で「愛児祝福式」を行います。

◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に「10・11月期の教会を考える会(役員会)」を行います。
- ・本日、15時から王寺墓地にて、大阪教区による合同墓前礼拝が行われます。服部墓地での合同墓前礼拝は、次週17日の15時から行われます。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載します。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・次週11月17日(日)15時~17時にかけて、日本聖公会・大阪聖愛教会にて、「引きこもり」というテーマで、「当事者」の方々からのお話を伺う集会在開催されます。無料です。ご関心のある方はどなたでもご参加下さい。
- ・次週11月17日(日)15時~17時にかけて、浪花教会にて大阪教区性差別問題小委員会主催の講演会「虹色の『ひとつの体』~さまざまなあなたの性、多様な私の性」が開催されます。講師は吉川ヒロさんです。参加費は無料です。オンラインでの参加も可能です。オンライン参加希望の方は、前日16日(土)までに下記のQRコードより、メールにてお申込み下さい。当日、会場での託児のご希望がある方も、同じくメールにてお知らせください。

大阪教区「心なごむ会」の集会のご案内

当事者は語る

テーマ: 引きこもり

心なごむ会では、精神障がいに対する理解を深めるために、「当事者」の方を招いて集会を開催しています。今回は、「引きこもり」をテーマに、当事者の方から話を伺い、学びを促す予定です。ご参加をお待ちしています。

【講演のご案内】
 近年、全国約110万人におられると推定される引きこもりの人々や80年代の職が引退した若年層の若者が増えている。この50年問題に関心が高まっています。当事者の多様性に対して従来の就労を中心とする支援は限界があり、個人の特性や社会的環境に即応されることで、心の負担に際して自らの生き方を探る上での当事者の経験を踏まえて、社会生活やワーク・ライフバランスの観点から学びたいと思います。
 ~講師: 吉川ヒロ(フリーランス、現職と引退した元自衛隊幹部候補生、精神科医士、NLPコーチ兼心理カウンセラー)~

2024年
 11月17日(日) 午後3時~5時
 会場: 日本聖公会 大阪聖愛教会
 大阪府天王寺区大田3丁目3の20 (電話: 06-6771-4120)

当日のプログラム

1. 主催者挨拶
2. 30年代の青年のお話し
3. 40年代の男性のお話し
4. 質疑応答

会場は無料

主催 大阪教区心なごむ会(旧「心病む友と共に」委員会)
 問い合わせ先 世話人代表 井上純道 (電話: 06-6715-3887)
 世話人 金子 正子 (電話: 06-6715-7650)



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
11/17	牛田匡牧師	(愛児祝福月間) 15時~ 大阪教区服部墓地 墓前礼拝
11/24	牛田匡牧師	(愛児祝福月間) 誕生祝福式・おにぎり支援
12/1	水谷憲牧師	(第1アドベント礼拝) ユーカリスト・教会を考える会
12/8	水谷憲牧師	(第2アドベント礼拝) (第二好意の庭クリスマス会)

かなで「性」について考え、学ぶ、議論

11.17 2024
 SUN
 15:00-17:00
 会場/日本基督教団 浪花教会 (オンライン併用)

日本基督教団 大阪教区 性差別問題小委員会 主催 講演会

<講演>
 虹色の「ひとつの体」
 -さまざまなあなたの性、多様な私の性-
 参加費無料 講演会後、休憩・質疑応答

講師: 吉川 ヒロ(Yoshikawa Hiro)
 大阪府性差別問題小委員会「かなで」実行委員 として関わっています。20歳で「もったいなく生きていこう」という思いに突き動かされ、トランスジェンダー現物/ペロソムティックであることを公表。2017年から多様な性に関する講演活動や相談業務に携わり始め、現在はLGBTQ+やジェンダー平等についての講演や個別相談も行う。自分らしく人と繋がりたい。多様な性や身体的多様性に関する対話・場づくりユニット「tononi」の共同代表として、教育現場を中心に活動を行っている。
 ・個人サイト
<https://speakout-hiro.hp.peraichi.com/>
 ・tononi、IPP
<https://tononi-to-tononi.anebaownd.com/>

オンラインで参加希望の方は、限定版のURLをお送りします。(※質疑応答は、対面参加者のみ。オンラインの参加希望の方は、お気の置けなものとさせていただきます。)
 11月16日(土)までに、下記メールアドレスにお名前と連絡先を記載してお申し込みください。*当日、託児の希望がある方も、メールにてお知らせください。
 [E-mail] uccj.osaka.rainbow@gmail.com

一会場アクセスはこちらをCHECK! どなたでもご参加できます!